

# 知事記者会見の概要

日 時：令和5年2月8日(水) 10:00～10:31

場 所：502会議室

出席記者：10名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。  
その後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 山形ふるさと観光検定の実施について

### 代表質問

- (1) マスクの着用について

### フリー質問

- (1) ふるさと納税の返礼品取扱事業者にかかる逮捕事案について
- (2) トルコ・シリア地震について
- (3) L G B Tなど性的マイノリティに関する知事の所感について
- (4) パートナーシップ制度の導入について
- (5) 山形市のラーメン消費額日本一について
- (6) 発表事項に関連して
- (7) 山形県の唐揚げ消費量について

<幹事社：山新・時事・SAY>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。

県内では、年明けから建物火災が非常に多く発生をしております、2月に入ってからも収まる気配がありません。県民の皆様には、「ストーブの周りに燃えやすいものを置かない」、そして「天ぷらなどコンロを使う時は火のそばを離れない」、また「コンセントはほこりを清掃し不必要なプラグは抜いておく」、これらのことに十分注意をして下さるようお願いいたします。

それから、トルコ・シリアで大変大きな地震が発生いたしました。報道で皆様もご案内かと思っておりますけども、そのトルコ・シリア地震に係る救援金について、日本赤十字社において一両日中に受付を開始すると聞いております。その際は、速やかに県庁や市町村に募金箱を設置して、受付をする予定でございます。詳細が決まり次第お知らせをいたしますので、よろしく願いいたします。

さて、県内では、今日から2月11日までインターハイのスキー大会が開催されております。山形市蔵王の蔵王温泉スキー場ではジャンプ、上山市坊平ではクロスカントリー、そして最上町の赤倉温泉スキー場ではアルペン競技が行われます。

44都道府県から、多くの高校生アスリートが集まって大活躍をしますので、皆さんも応援・声援を送っていただきたいと思っております。

それから、ラーメン消費額が日本一、これを山形市が2年ぶりに奪還されたと聞いて、私も大変喜ばしく思っているところであります。

県内全域で、美味しいラーメン屋さんたくさんありますので、ぜひ県内外の皆様、国内外の皆様から、楽しんでいただきたいというふうに思っているところです。

## ☆発表事項

### 知事

ここで私から、発表が1点ございます。

「山形ふるさと観光検定」の実施について申し上げます。

県内外の皆様に、本県の様々な魅力を知ってもらい、本県への観光誘客を図ることを目的に、明日2月9日から「山形ふるさと観光検定」を実施いたします。

この検定は、本県の観光スポットや歴史・文化・食などの魅力を楽しく学ぶことができる無料のWeb検定であります。今回は、問題の難易度別に初級・中級・上級の3段階に分けてまして、上級の合格者には「山形観光エキスパート」の称号を授与することとしております。

また、合格しますと、抽選で当たる県内宿泊施設の宿泊利用券や県産品などの景品を用意

してございます。

多くの皆様に、「山形ふるさと観光検定」に挑戦していただき、ぜひ「山形観光エキスパート」を目指していただきたいと思います。私からは以上です。

#### ☆代表質問

記者

おはようございます。山形新聞の鈴木です。よろしく申し上げます。

私からは、マスクの着用についてお聞きします。新型コロナの「5類」引き下げにあわせて、政府はマスクの着用のルールを緩和し、屋内・屋外を問わず「個人の判断」に委ねる方針を示しています。現在、様々な場面でのマスクの着用についての議論をされていますが、政府は卒業式において、マスクを外すことを可能とする案も検討しているという情報もあります。知事の所感を伺います。

また、業務中の県職員のマスクの着用の在り方を現時点で知事はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。この点についても伺います。

知事

ではお答え申し上げます。

県内の新型コロナの感染状況でありますけれども、新規感染者につきましては、約7か月ぶりに2桁の日がありました。そして、病床使用率は10%台で推移するなど、緩やかな減少傾向が続いているところです。

こうした中、新型コロナの「5類」への移行にあわせて、政府において、マスク着用の見直しの検討が進められていることは承知をしております。

今後の見直しに関して、政府では、「着用は個人の判断に委ねることを基本として検討する」という表現にとどまっております。現時点で具体的な考え方や詳しい内容は示されていないところです。

まず、卒業式におけるマスク着用の見直しについてであります。新型コロナウイルスの「5類」への移行の方針が出され、学校においてもできるだけ従前の日常に近い形で活動が行われていくことが望ましいと考えております。

ですが、その一方で、特に卒業式等などの行事では、保護者や来賓など普段は学校にはいない外部の方々が参加することや、校歌斉唱、卒業式の呼びかけなど、大きく呼吸を発する機会も多いことなどから、一定の対策が必要と認識をしているところであります。ですけれども、例えば、言葉を発しない記念撮影の際など、マスクを外しても影響がない場面もあるのではないかとこのように思っております。県教育委員会には、文科省から示される方針などを踏まえ、学校や家庭に分りやすく周知していただきたいと思いますというふうに思っております。

次に、県職員の業務中のマスク着用というご質問でありますけれども、県民の皆様への呼び

かけと同様に、「場面や状況に応じた不織布マスクの正しい着用」の徹底について、会議の場などを通して繰り返し周知をしております。

マスク着用の見直しにつきましては、今後示される政府の検討結果を踏まえ、適切に対応してまいりたいというふうに考えているところです。

県としましては、地方によってそれぞれ考え方が異なるというようなことではなくて、全国一律と言いますか、そういう意味では、政府には、着用が必要な場面の例示などを分りやすく、できるだけ早期に示していただきたいというふうに考えております。

記者

ありがとうございます。1点だけ追加で、先ほど卒業式の場面、記念撮影など言葉を発しない場面などはマスクを外せる可能性があるんじゃないかというお話がありましたけども、それ以外の場面というのは何か思いつくところはありますか。

知事

そうですね、やっぱり記念撮影っていうと集団で撮影するわけなんですけど、個別に撮影するにしても、言葉を発しないというようなところでは、柔軟に考えてもよろしいのではないかとこのように思っているところです。

ちなみに、県庁では、いろいろな時にそのようにしておりますので、そういったことも検討していただければというふうに思っています。

記者

ありがとうございます。私は以上です。

☆フリー質問

記者

共同通信の内藤です。よろしくお願いします。

昨日の話なんですけども、ふるさと納税を巡る贈収賄で3人が逮捕されました。警察の発表の通り30万円の賄賂で3億円が流れるという、なかなか衝撃的なニュースだったんですけども、ふるさと納税って地方の活性化に大きな役割を果たしている一方で、でもやっぱり不正の温床になりやすいという指摘も出ておまして、それを踏まえて、知事としての受止めであったり、各市町村がやっていることのウエイトが高いと思うんですけども、今後県として何か調査をすとか、現時点で何かされたことがあれば教えていただけますでしょうか。

知事

はい。ふるさと納税制度に関係する県内事業者の代表者が逮捕される事態に至ったとい

う報道があり、大変遺憾に思っております。

報道にありますようなことが事実であれば、これまでふるさと納税制度の健全な発展に向けた関係者の努力に反することであり、加えて寄附者の善意を踏みにじる行為でもありますので、大変残念なことだというふうに思っております。

逮捕された、返礼品取扱事業者は、県のふるさと納税の返礼品取扱事業者でもあるということを確認しております。

県といたしましては、法令違反が疑われる事業者が扱う返礼品を寄附者に送り続けるということは、寄附者の信頼を損ね、混乱を招きかねないというふうに考えておりますので、事実関係を確認して適切に対応していきたいと考えているところです。

現時点で市町村に対してどういうことを、というようなことは、まだ担当のほうと話しておりませんが、どういったことができるか聞いてみたいと思っています。

記者

TUY、鈴木です。

今の関連で、県のふるさと納税返礼品取扱事業者として確認されたということですが、これが今後事実確認をした上で、やはり法令違反が疑われた場合は、この事業者を抹消というか、取消しというか、どういう処分をお考えなのかということと、それともう一つ、今回逮捕された寒河江市の元職員が上司に嘘の報告をして事業者を承認させたということが、いろんな報道で伝えられておりますけれども、こういうチェック体制について今後県でどうされていくか、この2点をちょっと伺いたいのですが。

知事

逮捕されたということでもありますので、しっかり対応していかなければというふうに気を引き締めていかなければというふうに思っているところです。

県として、県のふるさと納税の返礼品取扱事業者でもあるということで、適切に対応していきたいというふうにお答え申し上げましたが、事実関係を確認してからでないとはやはり、はっきりとしたことは申し上げられない。推定ではやはり、記者さんもだいたいお測りいただけるというふうに思っておりますけれども。県の入札のほうでもですね、やはり法令違反を犯した場合は停止というようなことをやっておりますので、それと似たようなことになるのかなというふうに思っております。

あと、チェック体制というお話でありますけれども、どういうことができるか検討してまいりたいというふうに思っています。

記者

読売新聞の吉田です。

今の質問に関連してなんですけれども、今回、返礼品を取り扱っているその業者が、さ

くらんぼを取り扱っているということで、山形県のブランドイメージを傷つけるようなことにも繋がりがねないと思うのですけれども、また、山形県は今年、「やまがた紅王」の本格デビュー等で、より一層PRをしていく、その強化、発信していくという時にですね、非常に水を差しかねないような事態だと思うのですけれども、知事その辺のご所感をお聞かせください。

知事

はい。そうですね。山形県のふるさと納税の返礼品というのは、大変、さくらんぼとかですね、美味しい果物とか、食べ物、飲み物が多いかと思imasuので、やはりこういったことが起きたということについて、大変遺憾に、残念に思っているところであります。

ただ、本当に、本県のさくらんぼや果物ということに関しては、まずゆるぎのない自信を持っておりますので、こういったことがありましたけれども、全く生産まで響くことではないというふうに思っておりますので、消費者の皆様の信頼を損ねないように、やはり速やかにこういった事態には対処をして、「紅王」の本格デビューにしっかりと備えていきたいというふうに思っています。

本当に大事な年でありますので、こういったことが起きたことは大変残念なのでありますけれども、それ以上にしっかりと、素晴らしい良質なさくらんぼを生産してですね、消費者の皆様にお届けできるように、関係者、官民一体となって全力で取り組んでいきたいというふうに思っています。

記者

河北新報の原口です。

今に関連してなんですけれども、今回の贈収賄の事案に関しては、協力事業者が市に申請を出した際に、虚偽の申請をしたということで、その要件を満たしていない業者が入って、尚且つ品質が非常に悪かったということでクレームが来て、それで取消しに至ったという経緯があるんですけれども、自治体の審査のずさんさと言いますか、そういう、ちゃんとうまく審査が働いていない状況について、どういうふうに思われ、どういうふうに対応されますでしょうか。

知事

今、記者さんがおっしゃったような、その詳細なところまで私は、全く承知をしておりますので、寒河江市内に住所がなかったというようなこと、虚偽の報告で取扱業者になったというようなことを報道で知っている限りでありますので、そういった詳細のことについては、今の時点では、ちょっとお答えしかねますので、ご了承いただきたいと思imasu。

記者

さくらんぼテレビです。よろしくお願いします。

今の流れの関連で、該当の業者は、文翔館のカフェも運営をやっているということなんですけれども、その点についての見解をお聞かせいただけますでしょうか。

知事

はい。逮捕された事業者は、文翔館の喫茶店の経営者でありまして、文翔館での喫茶店営業を当面休止するというふうに聞いております。県としましては、事実関係を確認しながら、適切に対応してまいりたいというふうに考えております。

本当に、こういった残念な事件が発生したということで、文翔館の喫茶店まで休止するに至っている。これからどうなっていくのかというようなこともありますので、本当に繰り返しになりますが、事実関係を確認しながら適切に対応してまいりたいというふうに考えております。

記者

NHKの山元です。

ちょっと話題が変わりまして、トルコとシリアの地震の支援についてなんですけれども、先ほど赤十字社を通じて募金箱を設置するというお話だったんですけれども、県として人の派遣であったりですとか、義援金等の、赤十字以外の形での支援というところは今のところ何かお考えのものはありますでしょうか。

知事

県としてその募金箱を設置して救援金を募るというようなことはやはり真っ先に考えましたけれども、私は赤十字の支部長もしておりますので、早急にそのことには取り組んでいきたいというふうに思っております。

そのほかに県として、救援金のほかにというご質問ではありますが、具体的にどういったことができるのかということについては、まだ考えていないというのが正直なところでありますので、内部で議論をしてみたいというふうに思います。

記者

YTSの荒木と申します。よろしくお願いします。

私もちょっと話は変わりまして、こちらもニュース等で話題になっていますが、同性婚、それから性的マイノリティの方に対する総理秘書官の方の不適切な発言というところで、批判の声が上がっています。まずこの発言についてですね、知事のご所感というところでまずお聞かせ願います。

知事

はい。LGBTなど性的マイノリティということでもありますけども、これはやっぱり多様性の中に包含されるというふうに思っています。

多様性をですね、認め合って、誰もが生きづらさを抱えることなく個性や能力を最大限発揮し、活躍できることが大切だと考えております。

本県が持続的に発展していくためには、様々な多様性を認め合う社会の寛容性ということがますます重要になってくるというふうにも思います。

多様性を尊重して認め合うことで、誰もが自分らしく生き、県民の皆さま一人ひとりが幸福を実感できる山形県となるよう、しっかり取り組んでまいりたいというふうに考えています。

一言で申し上げれば、誰もが生きやすい社会を実現していきたいというふうに私は考えているところであります。

記者

今、自治体の取組みというところだとパートナーシップ制度というところで、東北ですと秋田、青森が県として実施されていたり、そのほか自治体、市町村単位で実施されているところもあります。県内は今のところそういった自治体はない状況です。

一方で、先日ですね、市民の有志の方でそのパートナーシップ制度の導入を求める会ということで発足があったりですとか、市民・県民の中でもそういう動きが出始めています。

改めて知事としてのこのパートナーシップ制度の導入について、お考えをお聞かせください。

知事

はい。先ほど申し上げたように、やはり多様性を認め合って、その中にそのパートナーシップ制度も入ります。誰もが生きやすい社会を、山形県を作っていきたいというふうに考えておりますので、そういった社会、山形県を目指してですね、これから取り組んでいきたいというふうに、内部で話し合っているところであります。

記者

今後、何か具体的にですね、実態調査とか含めてですね、何か検討されているところがあれば、お聞きできる範囲でお聞かせください。

知事

はい。まさに担当部と今、検討しているところというふうに聞いておりますので、そういう誰もが生きやすい社会を目指してですね、しっかり取り組んでいこうということを私からは申し上げておりますので、これから具体的なことが出てくるのだというふうに思っ



おりますので、お待ちいただきたいというふうに思います。

記者

ありがとうございます。

記者

もう一度お願いします。冒頭でご発言がありましたラーメンなんですけれども、山形市の支出額が日本一奪還になったということですね、山形市だけじゃなくて県内各地でおいしいラーメンが食べられるのが山形県の豊かな食文化の一つなのかなと思うんですけども、今回のその山形市ですね、日本一奪還ということがあって、県としても何かラーメンをより魅力発信をするような、何かそういうようなお考えとかあればお聞かせいただけないでしょうか。

知事

はい。本県は本当に自然も豊かで食も豊かだと、「おいしい」というふうに申し上げてきました。観光の分野でもですね、ラーメンもそばも「おいしい」県だということを申し上げてきました。そのシンボルとして山形市がラーメン消費額日本一に返り咲いたというのは大変喜ばしく思っております。

やはり山形県の大切な魅力の一つでありますので、地域資源の一つだというふうに考えておりますので、観光はもちろんですね、交流人口、関係人口の拡大などの場面でもやはりしっかりとラーメンが「おいしい」というふうなことをですね、きちんと申し上げてPRをしながら活用していきたいというふうに思っています。

記者

河北新報です。発表事項について一つ教えてもらいたかったんですけども、ふるさと観光検定、去年もあったと思うんですけども、これ、知事はやってみたことはありますか。昨年、今年、どちらか、もしやったことがありましたら。

知事

はい。私はウェブではなく用紙をもらってですね、それでやってみました。

たしか60問ぐらいあったうちですね、2問外れて、あとは当たっております、十分合格の範囲だったなというふうに、自分でチェックしました。

ただ、その2点外れたのが大変悔しくてですね、絶対忘れないぞというふうに思った覚えが、2点でも外れたのはちょっと私の立場として大変残念だったというふうに思いました。

記者

それは去年のやつですか？

知事

去年のことです。

記者

去年の。初級、中級、上級とありますが。

知事

それ、私は全部混ぜてやっちゃったんですね。はい、そんな状況です。でも今年もチャレンジしてみようかなというふうに思っております。

記者

ありがとうございます。

記者

食べ物の話、ラーメンのつながりで大変恐縮なんですけど、ラーメンのほうは日本一奪還ということで、ただ、山形県は鶏の唐揚げの1か月あたりのいわゆる消費量も比較的高い水準にあるそうなんですけど、知事にとってその唐揚げはどのような食べ物なのかなというのを聞きたいなと思ひまして。

知事

私にとってですか。我が家でも唐揚げはよく食べます。小さい子どもも唐揚げを好んで食べます。だから年齢とかに関係なく非常に好まれる食べ物かなと思ひています。

やっぱり食感と言ひますかね、表面がカリッとして中がジューシーというような表現はよく使われますけど、非常にうまみ成分を感じられる食べ物かなと思ひています。

それで、おいしい鶏肉もたくさん生産してありますので、山形県でもですね、今記者さんから結構たくさん消費されているというのを聞いて、どのくらい消費されているのかなと早速調べてみたくなりました。

いろんなおいしい食べ物が大好きな県民性でありますので、おいしいものをたくさんですね、鶏肉も生産し、また消費もたくさんされるようになっていけばいいなというふうに思ひしております。

まあ、好物の一つですね。